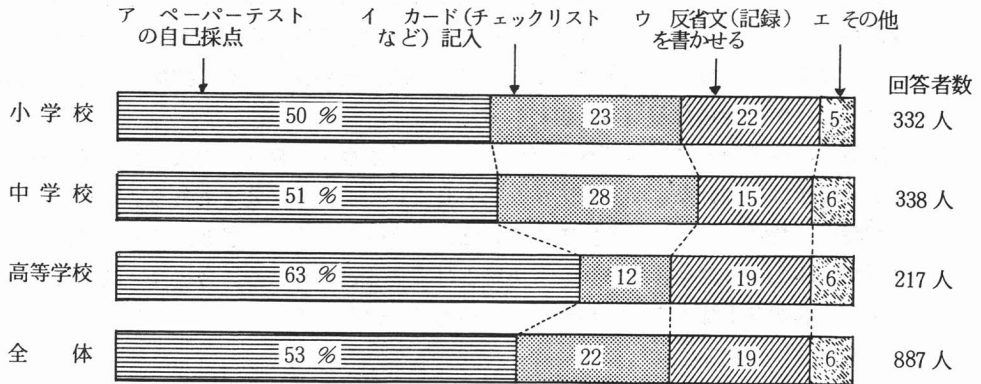


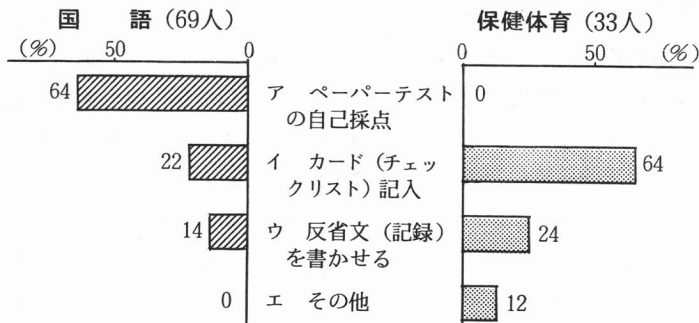
(6) 授業中の自己評価の方法

〔設問 11〕 あなたは、授業の中で、児童生徒に自己評価を、どのような方法で行わせることが最も多いですか。

○ 調査の結果 — 回答者数には、〔設問10〕でエと答えた人数は含まれていない。



- 全体的にみて、授業中に自己評価を行わせる方法は、「ペーパーテストの自己採点など」53%、「カード(チェックリストなど)記入による自己評価」22%、「反省文(記録)を書かせる」19%であり、これら三つの方法で94%を占めている。「その他」の6%の中では、「カード(チェックリスト)記入」「反省文(記録)を書かせる」を併用しているという回答が数多くみられる。
- 学校種別にもと、小・中学校では「カード(チェックリスト)記入」が23%、28%と高等学校の12%をうわまわっており、高等学校では、「ペーパーテストの自己採点」が63%と小・中学校の49%、52%をうわまわっている。
- 中学校の教科別の傾向を、国語と保健体育を例にみると、次のような結果になる。



国語、保健体育とも小・中・高等学校の傾向とは異った教科の特色を示している。

国語は「ペーパーテストの自己採点」64%、「カード(チェックリスト)記入」22%、「反省文(記録)を書かせる」の順に用いられ、これら三つの方法で自己評価を行わせているようである。また、保健体育は「カード(チェックリスト)記入」64%、「反省文(記録)を書かせる」24%、「その他」12%の順に用いられているが、「その他」の内容は、「カード(チェックリスト)記入」「反省文(記録)を書かせる」の併用が主であることからみて、これら二つの方法により自己評価を行わせているようである。